

CSDB

Chugoku-Shikoku Defense Bureau

中国四国防衛局広報誌

特集 海上自衛隊/米海兵隊岩国航空基地 フレンドシップデー2024



中国四国防衛局

Vol. 64

June 2024

目次 Contents

特集

2 海上自衛隊/米海兵隊岩国航空基地
フレンドシップデー2024

- 5 中国四国防衛局業務紹介（企画部）
- 6 令和5年度中国四国防衛局長感謝状贈呈
（前中国四国防衛施設地方審議会会長）
中国四国防衛局職員日記（企画部）
- 7 米軍単独訓練の実施（原村演習場、日本原演習場）
- 9 米軍再編に係る航空機訓練移転の概要
- 10 建設工事による完成施設（航空自衛隊見島分屯基地）
- 11 地盤災害の発生メカニズムとその対策についての講演会
- 12 呉地方総監部の歴史的建造物に関する技術研修
- 13 令和4年度計画音響測定艦 起工式
中型級船舶・小型級船舶 起工式
- 14 中国四国防衛局新規採用者の紹介（令和6年4月1日付）
中国四国防衛局退職者表彰（令和6年3月29日）
- 15 中国四国防衛局採用広報活動
在日米軍基地で勤務する従業員募集のお知らせ



表紙について
令和6年5月5日（日）
海上自衛隊/米海兵隊岩国航空基地
フレンドシップデー2024
「海上自衛隊U S - 2 とブルーインパルス」

CSDB

Chugoku-Shikoku Defense Bureau



中国四国防衛局

Vd. 64

June 2024

編集・発行
中国四国防衛局
（広報委員会編集）

〒730-0012
広島県広島市中区
上八丁堀6-30

Tel
082-223-7109

中国四国防衛局HP



編集後記
これからも中国四国防衛局の情報をお届けします！

中国四国防衛局
広報
X（旧Twitter）
@chushiDB_koho



海上自衛隊/米海兵隊岩国航空基地
フレンドシップデー2024

令和6年5月5日（日）

（航空自衛隊ブルーインパルス展示飛行）



特集 海上自衛隊/米海兵隊 岩国航空基地フレンドシップデー2024



米海兵隊岩国基地と海上自衛隊岩国航空基地共催の「フレンドシップデー」が5月5日(日)開催されました。会場には、最新鋭ステルス戦闘機F35BやMV22オスプレイ、海上自衛隊US-2などの航空機が約30機展示されました。昨年は雨のため、多くの航空ショーが中止となりましたが、今年は天候もよく、米海軍戦闘機FA18スーパーホーネットや米海兵隊F35Bステルス戦闘機などの展示飛行、航空自衛隊アクロバットチーム「ブルーインパルス」の航空ショーが行われ、会場を訪れた約11万3千人の家族連れや航空ファンを沸かせました。



FA18スーパーホーネット



FA18展示飛行



(左)海上自衛隊第31航空群 平木群司令
(右)米海兵隊岩国航空基地 ラスノック司令官



航空自衛隊C2輸送機



FA18ホーネット



F35B展示飛行



F35B展示飛行



MV22オスプレイ地上展示



海上自衛隊US-2地上展示



中国四国防衛局 企画部の御紹介

企画部は、地方調整課（基地対策室、地方協力確保室及び環境対策室を含む）、周辺環境整備課、防音対策課、業務課、施設管理課（施設企画室を含む）及び施設取得課の6課4室から構成されています。今回は、これら企画部各課室の主要な業務について紹介します。

地方調整課

米軍施設の提供や返還等に係る連絡調整や、関連市町村への交付金に関する業務を行っています。

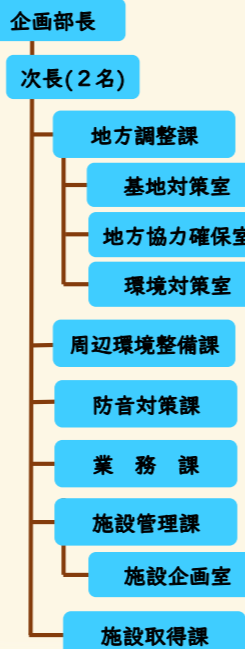
基地対策室

自衛隊や米軍の施設の設置や運用等に伴い生じる諸問題に対する施策の企画や立案等に関する業務を行っています。

地方協力確保室

防衛政策についての地方公共団体や地域住民の理解と協力の確保に関する業務（防衛問題セミナーや日米交流事業の実施など）を行っています。

企画部の組織



日米交流事業（地方協力確保室）



防衛問題セミナー（地方協力確保室）

環境対策室

自衛隊や米軍の施設の設置や運用により生ずる環境問題への対応等に関する業務を行っています。

周辺環境整備課

防衛施設と周辺地域の生活環境との調和を図る施策に関する業務（河川改修や道路等の工事、生活環境施設の整備等に対する助成など）を行っています。



道路改修事業（周辺環境整備課）

防音対策課

防衛施設と周辺地域の生活環境との調和を図る施策に関する業務（学校や病院、住宅の防音工事に対する助成など）を行っています。



学校防音事業（防音対策課）

業務課

米軍に起因する事故への損害賠償や、米軍や自衛隊の制限水域における漁船の操業制限等への補償に関する業務を行っています。

施設管理課

自衛隊や米軍の施設（土地や建物等）の財産管理に関する業務を行っています。

施設企画室

自衛隊や米軍の施設（土地や建物等）の管理に伴い生じる諸問題の調査・研究等を行っています。

施設取得課

米軍や自衛隊の施設に供するための土地等の買い入れや借り上げに関する業務を行っています。



緑地整備事業（施設管理課）



令和5年度 局長感謝状贈呈(前中国四国防衛施設地方審議会会長)



令和6年3月11日、前中国四国防衛施設地方審議会会長の小田宏史氏におかれては、同年3月6日をもって同審議会会長を辞されたことから、局長感謝状を贈呈しました。小田氏におかれては、平成30年3月から令和6年3月までの間、同審議会会長として、3期6年にわたり、防衛施設に関する業務に深い理解を示され、同審議会の運営を統括するとともに、当局が行う防衛行政の円滑な実施に多大な貢献をされてきたことから、このたび、当局局長より感謝の意を表したものです。



中国四国防衛局 職員日記（企画部防音対策課）



（防音対策課 野上 彩人）

私は令和6年4月1日付で採用され、企画部防音対策課に配属になりました。出身は広島県の福山市で、今は親元を離れて一人暮らしをしています。慣れないことも多く親の偉大さを日々感じつつ勤務しています。

私は主に飛行場周辺に設置している航空機騒音の自動測定関係の業務に携わっており、自動測定装置を設置する場所の賃貸借・使用許可に関する業務やホームページへ公表する資料の作成等を行っています。作業に時間がかかる業務も多く、法令・規則等を理解することが大変で毎日勉強の日々ですが、自分の時間を大切にしながら、業務を行うことができています。

最初は、職場の方や同期の人達と良好な関係を築くことができるか、しっかりと業務をこなすことができるかなど様々な不安がありましたが、上司や先輩方、同期の人達も親切で優しいので楽しく過ごすことができています。

人と人の繋がりを大切にしつつ一日でも早く関係法令や規則を覚え、業務を効率的に処理できるように取り組んでいきたいと思っています。



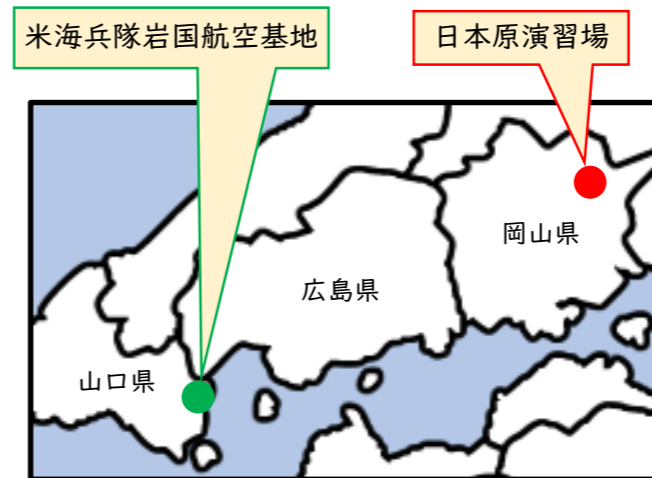
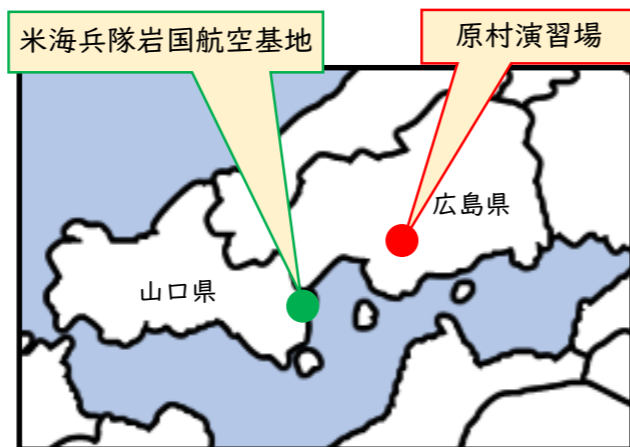
陸上自衛隊原村演習場における米軍単独訓練の実施

令和6年3月13日から19日までの7日間、広島県東広島市に所在する陸上自衛隊原村演習場において、米海兵隊岩国航空基地を拠点とし、主に飛行運用の支援を行う海兵第171航空師団支援中隊による単独訓練が実施されました。

本訓練は、平成3年8月に初めて実施されて以降、今回が54回目であり、演習場区域における一般訓練及び基本射場における小火器射撃訓練がそれぞれ実施されました。

本訓練実施にあたり、当局はこれまでと同様、訓練前においては、訓練実施期間及び内容等を関係自治体等へ通知し、訓練期間中においては、職員を連絡員として現地に派遣し、米軍や自治体との調整や連絡など所要の対応を行いました。

訓練部隊は、最大限の安全確保等を行い、訓練を無事に終え、岩国航空基地に帰還しました。



陸上自衛隊による米軍への注意事項等の説明



射撃訓練



救護訓練



射撃訓練



防衛局の現地連絡本部



陸上自衛隊日本原演習場における米軍単独訓練の実施

令和6年3月18日から27日までの10日間、岡山県の陸上自衛隊日本原演習場において、米海兵隊岩国航空基地を拠点とし、主に地上部隊への車両整備支援を行う第36戦闘補給部隊による単独訓練が実施されました。本訓練は、平成30年10月に初めて実施されて以降、今回が6回目となります。

同部隊は、日本原駐屯地内に設置した指揮所を拠点として演習場での射撃訓練、一般訓練（パトロール訓練、車両の機動訓練、基本救護訓練）を実施しました。

訓練に先立ち行われた米軍による現場確認の際に、海兵隊の訓練責任者に対し、陸上自衛隊や当局から訓練にあたっての注意事項等を伝達するとともに、訓練中も随時状況を確認するなど、十分な安全管理のもと訓練が実施されました。



防衛局職員による巡回



防衛局職員による米軍車両の誘導



米軍再編に係る航空機訓練移転の概要

米軍再編に係る航空機訓練移転については、「再編の実施のための日米ロードマップ（平成18年5月）」に基づき、二国間の相互運用性の向上と米軍飛行場の訓練活動の影響を軽減するため、平成18年度以降、実施しています。

訓練移転元の米軍飛行場の嘉手納、岩国及び三沢飛行場から、訓練移転先の千歳、三沢、百里、小松、築城及び新田原の各自衛隊基地、グアム等及び米国アラスカ州への訓練移転を実施しており、岩国飛行場周辺における航空機騒音等の負担軽減に寄与しています。

今年度は、岩国飛行場からグアム等への訓練移転を、現時点において以下のとおり2回実施しました。

(1回目)

- ・訓練期間：令和6年5月17日～6月17日
- ・訓練規模：F-35B×10機程度

(2回目)

- ・訓練期間：令和6年5月20日～6月21日
- ・訓練規模：FA-18C×6機程度、FA-18D×6機程度、KC-130J×2機程度

岩国飛行場からの訓練移転実績（令和3年度～令和5年度）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
訓練移転先	百里	1回		
	新田原		1回	1回
	グアム等	5回	4回	3回
訓練移転回数		6回	5回	4回
訓練参加機数		78機程度	72機程度	60機程度



建設工事による完成施設（航空自衛隊 見島分屯基地）

調達部は、中国地区5県及び四国地区4県に所在する自衛隊駐屯地・基地等や在日米軍基地における施設の建設工事などの業務を担っています。

今回の完成施設は、山口県萩市に位置する航空自衛隊 見島分屯基地の公務員宿舎です。



本工事は、平成3年に完成した公務員宿舎について、経年劣化により外壁にひび割れ等が生じていたことから、自衛隊員の生活・勤務環境改善を目的に、外壁改修工事を行ったものです。

見島分屯基地は離島の厳しい環境下であり、海風に対応するため、外壁及び鉄部の塗装については塩害等に耐候する塗料を使用しました。



見島分屯基地は、山口県萩市の沖合約40キロメートルの日本海上に位置する見島に所在しています。離島での工事であることから、島外より建設重機及び建設資材等を海上輸送しなければならず、工事の進捗に合わせて海上輸送計画が大変重要であって、天候不良により船が出航できない場合は計画を見直すなど厳しい条件下での工事でしたが、工期内に完成させることができました。



地盤災害の発生メカニズムとその対策についての講演会

令和6年2月29日、広島合同庁舎2号館において、一般財団法人 地域地盤環境研究所 代表理事の三村 衛氏（京都大学名誉教授、公益社団法人地盤工学会前会長）を講師として招き、「地震と降雨に起因する地盤災害の発生メカニズムとその対策」と題し、技術職員に対しての講演会を開催しました。



地震と降雨に起因する地盤災害の発生メカニズムとその対策

一般財団法人 GRI財団
三村 衛

講演会ではその土地の地形、土砂等の堆積環境に起因する地盤の成り立ちと素因としての災害リスク、砂質地盤の液状化や液状化危険度評価、盛土への降雨時不安定化とそのメカニズムについて解説していただき、講演後の質疑応答においても液状化の可能性など活気のある質疑が行われました。

本日の講義の内容

1. 地形、堆積環境に起因する地盤の成り立ちと素因としての災害リスク
 - ・その地点が保有する潜在的な地盤リスク
 - ・地盤の人工改変によるリスク・埋立と造成
2. 砂質地盤の液状化
 - ・液状化はどのような地盤で起こりやすいのか？
 - ・液状化危険度評価と対策
3. 広域の液状化危険度評価
 - ・地域防災計画に寄与する地震被害想定との視点
 - ・地盤情報データベースの利活用（地形判読からの精度向上を目指して）
4. 盛土の降雨時不安定化とそのメカニズム
 - ・盛土としての古墳墳丘の崩壊事例とメカニズム評価
 - ・地盤情報の重要性



日本は能登半島地震や西日本豪雨災害などの自然災害が多く、災害時は自衛隊の駐屯地等を拠点として人命捜索・救助、医療、給水・給食、輸送等の様々な災害派遣を行います。調達部は中国地区5県及び四国地区4県に所在する自衛隊駐屯地・基地等や在日米軍基地における施設の建設工事などの業務を行っており、地盤災害の発生メカニズムとその対策についての知見を深められたことで防災・減災に強い施設の建設の重要性を認識しました。



呉地方総監部の歴史的建造物に関する技術研修

令和6年5月22日に海上自衛隊呉地方総監部の協力を得て、広島工業大学環境学部建築デザイン学科の光井准教授を講師に迎え、調達部若手技官の技術研修を実施しました。本技術研修の目的は、防衛省が管理する歴史的建造物に対する理解促進や、今後の利活用に向けた技術的知見を深めさせるとともに、防衛省の自衛隊施設整備工事に関する知識向上を企図しました。



今回の研修には、「呉地区に所在する歴史的建造物に関する今後の利活用、歴史的価値」について研究している広島工業大学環境学部建築デザイン学科の学生も参加され、本研修を通じ、学生各自の研究内容及び防衛局で勤務する施設系技官の業務内容について意見交換を実施することで、当局若手技官の技術的知見を深めるとともに、これから社会人となる学生には防衛局の業務内容について、理解を得られる良い機会にもなりました。



当局管内には、海上自衛隊呉地方総監部と同様に、歴史的建造物を管理する自衛隊施設があることから、これからも同様の研修を開催することで、幅広い視野で施設の建設工事に携わることのできる若手技官の育成を行っていきます。



令和4年度計画音響測定艦 起工式

令和6年3月19日、岡山県玉野市に所在する三菱重エマリタイムシステムズ株式会社玉野本社工場において、中国四国防衛局玉野防衛事務所が監督・検査を担当している令和4年度計画音響測定艦の起工式が執り行われました。

今回建造される艦は、音響測定艦（「ひびき」型4番艦、基準排水量2,900トン）です。



起工式

起工式の様子（祝詞奏上）

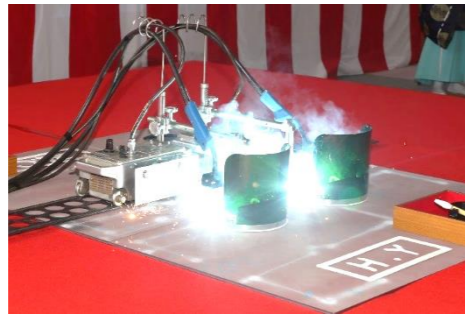
起工式では、地元「玉比咩神社」の宮司によって神事が行われ、工事期間の安全、艦の安全が祈願されました。

また、溶接行事では、準備されたプレートにイニシャル・サインを施した後、溶接機械を作動し、音響測定艦の建造工事が開始されました。このサインされたプレートは、船体の一部として実際に使われる予定となっています。

今後は、船体ブロックの溶接工事が続き、船体ブロックの製造・搭載・組立を繰り返し、令和7年2月には命名式、進水式を迎える予定となっています。



鋼材にサインを施す様子



溶接作業スタートの瞬間



音響測定艦（写真は「あき」）

写真提供：三菱重エマリタイムシステムズ(株)



中型級船舶・小型級船舶 起工式

令和6年4月23日、広島県尾道市に所在する内海造船株式会社建造工場において、中国四国防衛局が監督・検査を担当する中型級船舶（LSV）及び小型級船舶（LCU）の起工式が執り行われました。

当該船舶は、令和6年度末新編される海上輸送部隊に配備予定であり、主として作戦準備段階における島嶼部等への部隊の機動展開等において重要な役割を担います。

本式典には、内海造船株式会社の原耕作社長、陸上幕僚監部装備計画部長、中国四国防衛局調達部長のほか関係者約30名が出席しました。

今後、船体工事が開始され配管工事、機器取付工事等を経て、令和6年秋頃に進水式が行われた後、海上にて操船確認ほか各種試験を実施して、要求される仕様を満足することを確認した上で、令和6年度末に防衛省に引き渡される予定です。

中国四国防衛局では当該船舶の建造に向けて監督・検査に万全を期して参ります。



溶接始めの儀

写真提供：内海造船(株)



中国四国防衛局 新規採用者の紹介(令和6年4月1日付)



春の訪れを感じる令和6年4月1日、当局に新規採用者15名が仲間入りしました。

緊張の面持ちで入省式に臨んだ新規採用者でしたが、西方局長からの言葉を受け、改めて防衛省職員としての責務を自覚し、引き締まった表情で、入省式を終えることができました。

今後は職場の上司からの指導や関係者の方々からのご意見をいただきながら、たくましさや困難を乗り越える柔軟さを身につけ、人間的に大きく成長することを期待しております。



中国四国防衛局 退職者表彰(令和6年3月29日)

令和6年3月29日、西方局長から退職される4名に対し、局長表彰状を授与しました。

積年にわたる職務のご労苦に感謝するとともに、培われた経験や築かれた財産を今後とも大事に引き継いでまいります。

(前列左より)

- 松山 幸代（企画部地方調整課環境対策室）
- 川口 真司（総務部総務課）
- 里 高志（企画部施設取得課）
- 菖蒲 康広（岩国防衛事務所）





中国四国防衛局採用広報活動

2025年度採用に向けて、随時業務説明会を実施しています。

【令和6年度業務説明会の予定】
(行政・事務系、技術系)

大卒程度対象：5月～7月
高卒程度対象：9月～10月

仕事内容は？
職場の雰囲気は？？
そんな素朴な疑問にも
お答えします！

業務説明会の風景



案内・詳細はこちら



防衛省HP



中国四国防衛局のX(旧Twitter)では、
中国四国管内のイベント情報の他にも
採用に関する情報を掲載していますので、
こちらもぜひご覧ください。



X



採用に関する説明会の依頼も受け付けて
います。ご希望等がありましたら採用
担当までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

中国四国防衛局総務部総務課
人事係採用担当

☎082-223-7105 (直通)



在日米軍基地で勤務する従業員募集のお知らせ



独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】では、在日
米軍基地で勤務する従業員の募集を行っています。

求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報が
ホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されます
ので御利用下さい。

【X(旧Twitter)】

求人情報等の募集関連情報を定期的に発信しています。
ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名

「在日米軍従業員求人情報(エルモ) @LMO_recruit」

X(旧Twitter)



<https://www.lmo.go.jp>

LMO 検索

【窓口応募受付・お問い合わせ先】

■岩国支部管理課管理係

住所：岩国市中津町2-15-35

電話：0827-21-1271

担当施設：岩国飛行場

■岩国支部呉分室

住所：呉市中央1-6-9センタービル呉駅前

電話：0823-32-7087

担当施設：広島県内の在日米軍施設

エルモホーム
ページ

求人情報
本州・九州の基地

